

1 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況

(1)				「明日からできる脊髄損傷」研修会			
担当部署		脊損リハケアワーキンググループ		対象		医師、理学療法士、作業療法士、看護師など	
目的		脊髄損傷のリハビリテーションの関わりにあたり、臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化して実施する。		日時		①R6.4.28（金）18:30～19:45 ②R5.5.12（金）18:30～19:45 ③R5.8.4（金）18:30～19:45 ④R5.9.22（金）18:30～19:45 ⑤R6.2.2（金）18:30～19:45	
				場所		オンライン開催	
				参加人数		①105名、②111名、③100名、④93名、⑤56名	
内容							
①明日からできる脊損診療の診かた（診療部 センター長 菊地尚久）							
②明日からできる脊髄損傷の評価 （リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、主任作業療法士 神保和正）							
③明日からできる頸髄損傷の理学療法 （リハビリテーション治療部 上席理学療法士 鈴木謙太郎、作業療法士 八木貫太）							
④明日からできる頸髄損傷の作業療法 （リハビリテーション治療部 主任作業療法士 吉村友宏、作業療法士 柴徳乃歌・横田翠）							
⑤明日からできる 脊損看護とソーシャルワーク （看護部 副看護師長 富岡久美、総合相談部 入退院支援室長 阿部里子）							

(2)				第6回せき損リハ・ケア研修会			
担当部署		脊損リハケアワーキンググループ		対象		医師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど	
目的		千葉県内の脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを発展させるため、当センターの脊髄損傷者に対するリハビリテーション支援の取り組みを紹介する。		日時		R6.6.22（土）10:00～15:30	
				場所		千葉リハセンター2F 大ホール	
				参加人数		25名	
内容							
①データから読み解く 脊髄損傷 リハ支援の視点～千葉県脊髄損傷データベースから見えたこと～ （リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司）							
②症例を通した排泄支援の看護の実際（看護部 副看護師長 富岡久美）							
③脊髄損傷の退院支援～地域連携・病棟連携を中心に～（総合相談部 入退院支援室長 阿部里子）							
④実技・体験							
⑤情報交換会							

(3)				Chiba SCI Salon			
担当部署		脊損リハケアワーキンググループ		対象		千葉県脊損データベース参加施設	
目的		千葉県脊損データベースに参加登録している施設同士の交流の機会として実施する。このような機会を通じて、千葉県における脊髄損傷者に対するリハビリテーションの支援体制を強化すること。		日時		R7.3.7（金）18:00～19:00	
				場所		オンライン開催	
				参加人数		20名	
内容							
①千葉県版脊損データベースについて（リハビリテーション治療部 部長 村山尊司）							
②各施設紹介：県内9施設							

(4) 「明日からできる小児リハビリテーションのキホン」研修会			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、他
目的	小児リハビリテーションの関わりにあたり、セラピストが臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化し小児リハの質を高めること、施設間の顔の見える関係性を構築すること。	日時	①R6. 5. 17 (金) 18:30～20:00 ②R6. 7. 19 (金) 18:30～20:00 ③R6. 9. 13 (金) 18:30～20:00 ④R7. 1. 17 (金) 18:30～20:00 ⑤R7. 3. 14 (金) 18:30～20:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	①76名、②82名、③56名 ④33名、⑤46名
内容			
①ライフステージにおける小児リハビリテーションの視点 (リハビリテーション治療部 上席理学療法士 大矢祥平)			
②学齢期のリハビリテーション (リハビリテーション治療部 主任作業療法士 川原佑亮、理学療法士 鈴木瑠璃夏)			
③小児の摂食・嚥下 (リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田 颯、主任言語聴覚士 喜安朋子)			
④肢体不自由児のFun (リハビリテーション治療部 科長 三屋邦明、主任理学療法士 後藤達也)			
⑤小児リハの Topics (リハビリテーション治療部 科長 小川智美、主任作業療法士 川原佑亮)			

(5) 小児リハビリテーションに必要な基本的技術講習会			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、他
目的	小児リハビリテーションに必要な基本的技術習得を目的として実技講習会として実施した。	日時	R6.11.24（日）9:20～15:45
		場所	千葉リハセンター2F 大ホール、小児療 法室、他
		参加人数	56 名
内容 4つの技術体験講習 ①小児の呼吸介助手技（リハビリテーション治療部 科長 小川智美、理学療法士 鈴木瑠璃夏） ②摂食支援方法（自助具など） （リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田颯） ③小児の車いす・姿勢保持装置 （リハビリテーション治療部 科長 宮原なおみ、主任理学療法士 後藤達也） ④ICT 機器の活用について （リハビリテーション治療部 科長 三屋邦明、言語聴覚士 須田真紀）			

(6) 認定理学療法士臨床認定カリキュラム (脊髄障害)			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	登録理学療法士
目的	認定理学療法士 (脊髄障害) 取得のための 必須受講講座として開講した。	日時	①R7. 1. 6～R7. 2. 16 (オンデマンド配 信) ②R7. 2. 23 (日) ～2. 24 (月)
		場所	①オンデマンド配信 ②現地開催 (千葉リハセンター小児療法 室)
		参加人数	4 名
内容 ①15 講座 (1 講座 90 分) のオンデマンド講義 ②実技講習 (5 コマ) (リハビリテーション治療部 部長 村山尊司、科長 戸坂友也・高浜功丞、主席理学療法士 鈴木謙太郎、主任理学 療法士 藤平智也・佐藤大幸・丹治千尋、理学療法士 土井佑夏・後藤拓也、診療部 センター長 菊地尚久)			

(7)	地域・連携型 BCP の基礎を学び有事の『つながり』を考える研修会（有事リハ行動指針策定事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	通所リハ事業所、訪問リハ事業所（訪問看護事業所も含む）、地域リハ関係者、行政機関など
目的	大規模災害などの有事に備え、訪問リハや通所リハをはじめとした地域のリハビリテーション継続のために『地域・連携型 BCP』の基礎を学び、保健・医療・福祉・行政など様々な機関同士のつながり作りを考える。	日時	①R6. 9. 18（水） ②R6. 9. 27（金） ③R6. 9. 30（月）
		場所	①成田市文化芸術センター ②山武市成東文化会館のぎくプラザ ③千葉県社会福祉センター
		参加人数	①59 名 ②49 名 ③67 名
講演「有事に備えた『地域リハ』と『つながり』～地域・連携型 BCP の基礎を学ぼう～」 （慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 山岸暁美氏） 意見交換：有事における課題とは？			

(8)	第 22 回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	脊髄損傷当事者、家族、支援者他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障害を被った者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、被害者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換の場を提供すること	日時	①R6.11.24（日） ②R6.11.27（水）～15（日）
		場所	①ライブ配信 ②オンデマンド配信
		参加人数	198 名
内容 テーマ「脊髄損傷者の災害への備え」 講演「脊髄損傷者の災害への備え ～当事者の立場と研究・開発者の立場から」（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長 硯川潤氏）			

(9)	第 18 回千葉県地域リハビリテーションフォーラム		
担当部署	地域リハ推進部	対象	地域リハ広域支援センター他
目的	県内の地域リハ推進の一助とするため、千葉県での取り組みを全国に発信すること、並びに全国の地域リハ関係者と一緒に学び、意見交換の場を作ること	日時	R6. 12. 22（日）
		場所	モリシアホール
		参加人数	99 名
内容 テーマ「つなぐ つながる 千葉県の地域リハ」 基調講演「千葉県の地域リハビリテーションのこれから」 （千葉県健康福祉部健康づくり支援課 地域リハビリ班） 実践報告「“つながった” ことによる成果」（広域支援センター及びちば地域リハ・パートナー担当者） ポスターセッション「実践シェアしませんか？」 グループディスカッション「千葉県の地域リハビリテーションの新たな”つながり” をつくろう」			

(10)	有事における地域でのリハビリテーション継続に関する課題検討会 ～有事に役立つ平時からの“つながり”を作るために～（有事リハ行動指針策定事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	通所リハ事業所（通所介護事業所等での機能訓練事業も含む）、訪問リハ事業所（訪問看護事業所も含む）、自立訓練事業所、行政、地域リハ関係者
目的	課題調査の結果をもとに地域の関係者の皆様とさらに掘り下げ、より具体的な課題検討と解決策を議論する。	日時	①R7.1.20（月） ②R7.1.24（金） ③R7.1.29（水） ④R7.2.4（火）＜WEB 開催＞
		場所	①千葉県社会福祉センター ②山武市成東文化会館のぎくプラザ ③ホテルサンモール（旭市）
		参加人数	①21 名 ② 8 名 ③18 名 ④42 名
・課題調査の結果報告 ・課題検討（グループワーク） ※各会場いずれも同じ内容			

(11)		千葉県地域リハビリテーション研修会	
担当部署	地域リハ推進部	対象	・千葉県内で保健・医療・福祉に携わる全ての方 ・市町村などの行政機関の方 ・地域リハビリテーションに興味のある方やこれから携わりたいと考えている方
目的	「今後の地域リハビリテーションあり方検討会」で作成された「地域リハビリテーションの骨子」をもとに、地域リハビリテーションの基盤となる考え方や視点を理解し、千葉県の地域リハビリテーションの実状を理解すること	日時	R7.2.28（金）～3.1（土）
		場所	千葉市文化センター セミナー室 千葉県教育会館 604 会議室
		参加人数	33 名
内容			
1 日目：講義 1 「千葉県の地域リハビリテーションの理念と骨子を理解する」 （千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域支援センター長 田中康之） 講義 2 「『障害』と『つなぐ』を理解する」（国際協力機構（JICA）久野研二氏） 座談会 「『つなぐ』の実際を理解する」 （地域リハビリテーション広域支援センター、千葉県リハビリテーション支援センター）			
2 日目：ワークショップ			

(12)	高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2024		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	第1回：R6. 7. 5（金） 第2回：R6. 8. 16（金）※ ※天候悪化によりオンデマンドで実施 第3回：R6. 10. 11（金） 第4回：R6. 11. 15（金）
		場所	千葉市民会館 小ホール
		参加人数	第1回：63名 第2回：58名 第3回：47名 第4回：45名
講義：座長（高次脳機能障害支援部 部長 森戸崇行） 第1回：概論：高次脳機能障害概論（診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理） ミニ体験「面談の見える化」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第2回：各論1「神経疲労（脳疲労）・注意障害」（高次脳機能障害支援部 首席理学療法士 揚戸薫） ミニ体験「ナチュラルサポート」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第3回：各論2「記憶障害・遂行機能障害」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） ミニ体験「手順書作成」（高次脳機能障害支援部 首席理学療法士 揚戸薫） 第4回：各論3「社会的行動障害」（東京福祉大学 教授 先崎章 氏） 「失語症」（リハビリテーション治療部成人療法室言語聴覚科長心得 言語聴覚士 高橋誠貴）			

(13)	当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 2024		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族
目的	症状の理解と支援について、当事者や家族がわかりやすく短時間で学べることを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R6. 7. 8（月）～ 8. 4（日）
		場所	オンデマンド開催
		参加人数	248 名（外部の病院からの参加希望を含む）
講義：高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応 （講師：高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子・主任心理師 小菅倫子） 第 1 回「脳疲労・注意障害・情報処理力の低下・記憶障害」 第 2 回「遂行機能障害・病識の低下・社会的行動障害」			

(14)	第 20 回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族・支援者
目的	当事者とその家族、支援者等への支援に役立つ情報提供や情報交換の場を提供することを目的とする。今年度は地域支援をテーマに講習会を企画・開催した。 ※日本損害保険協会の助成により開催	日時	R6.9.7（土）
		場所	千葉県教育会館 大ホール
		参加人数	62 名
①講演：「高次脳機能障害の子どもの育ちを支援する ～点でなく線で支える大切さ～ （座長：診療部 センター長 菊地尚久） （講師：大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科 医長 温井めぐみ氏） ②ミニ講演：「子どもの復学支援 ～チームで支える～ （講師：千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 赤木陽子氏）			

(15)	第 8 回高次脳機能障害就労支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害就労移行支援プロジェクト	対象	医療機関で働く専門職
目的	高次脳機能障害者の就労支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 今年度は主に医療機関で働く専門職を対象に研修を実施した。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R6.11.2（土）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	33 名
講義： ①社会リハビリテーションについて（講師：更生園 上席生活支援員 老川久美江/ 主任生活支援員 会沢希美） ②高次脳機能障害者への就労支援 ～事例をまじえて～ （講師：高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子、リハビリテーション治療部成人療法室第 2 作業療法科長 作業療法士 高浜功丞/ 成人療法室言語聴覚科長心得 言語聴覚士 高橋誠貴） 情報交換会			

(16)	第 20 回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会（千葉県受託）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R6. 12. 6（金）
		場所	千葉市民会館 小ホール
		参加人数	66 名
講演「失語症・高次脳機能障害の退院後の困り事と工夫」 （座長：診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理） （講師：オンライン言語療法「ことばの天使」主催 多田紀子氏）			

(17)	第 7 回生活版ジョブコーチ支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	高次脳機能障害支援の携わる県内事業所勤務の支援者
目的	高次脳機能障害者の自立支援のための支援技法について、地域の支援機関・支援者に普及・啓発することを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R6. 12. 13（金）
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	21 名
講義： ①講義「高次脳機能障害の方の地域生活支援 ～ 生活版ジョブコーチ支援 ～ 」 （講師：高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫） ③グループワーク「生活版ジョブコーチ支援の視点で事例について考えましょう」 （講師：高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子）			

(18)	令和 6 年度千葉県高次脳機能障害支援養成研修		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕	対象	千葉県内に所在する障害福祉サービス等事業所において高次脳機能障害者の支援に従事する従業者
目的	高次脳機能障害についての知識を得ることやその障害特性を理解することで、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施できる、障害福祉サービス事業所等に従事する支援者を養成すること	日時	R7.2.6（木）～2.7（金）
		場所	千葉県庁中庁舎 10 階大会議室
		参加人数	48 名
講義： 1 日目：基礎研修（講師：高次脳機能障害支援部） 演習 0 1：障害特性の理解 診断・評価体験 演習 0 2：障害特性に応じた支援 演習 0 3：生活訓練の実際 演習 0 4：復職・就労移行支援 2 日目：実践研修（講師：高次脳機能障害支援部） 講義 0 1：障害特性に応じた支援・地域の支援体制 講義 0 2：千葉県における小児期支援 演習 0 1：障害特性の理解と対応方法 演習 0 2：環境調整による支援と記録に基づく支援の評価			

(19)	令和6年度 療育支援研修会		
担当部署	総合療育センター	対象	障害児支援（主に運動障害）に携わる保育士等
目的	千葉県内の未就学の障害児に携わる保育士や支援者に、摂食や遊びについて等の講義や各事業所の課題解決に向けた研修を行う。	日時	R6.10.21（土） 9：00～16：20
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階 大ホール
		参加人数	42名
内容			
① 小児の摂食・嚥下障害（診療部 第二小児科部長 小島佳奈）			
② 口腔機能の発達と障がいのある児の食事の援助（リハビリテーション治療部 作業療法士 強口朋美）			
③ 当センターの食事と嚥下食（栄養部 栄養科長 木村直子）			
④ 障がいのある子どもたちの遊びと姿勢援助（療育支援部 保育士 大原理恵）（リハビリテーション治療部 理学療法士 菊池佑維）			
⑤ 「遊ぶ」「食べる」とコミュニケーション（リハビリテーション治療部 言語聴覚士 須田真紀）			
⑥ 障がいのある子どもたちの心の動きと関わり方～褒め方・叱り方～（リハビリテーション治療部 公認心理士 赤石正美）			

(20)	令和6年度 成人期施設職員研修		
担当部署	総合療育センター	対象	成人期を迎えている脳性麻痺の方が通う 障害者支援施設職員
目的	千葉県内の障害者支援施設に携わる看護 師、介護福祉士、保育士等に対して各職 種による支援の講義や、各事業所での課 題解決に向けた研修を行う。	日時	R6.12.21（土） 9：00～15：55
		場所	千葉リハビリテーションセンター 3階 研修室
		参加人数	13名
内容			
① 重複障害のある成人期利用者の体調管理、注意すべき特徴について～成人期施設職員に知っておいて欲しいこ と～（診療部 第一小児神経科部長 田邊良）			
② 多職種でおこなう健康管理について（看護部 看護師 大島ゆり）			
③ 成人期の日中活動～愛育園の活動紹介～（療育支援部 生活援助員 深木麻甲）			
④ 精神的不調に寄り添うために知っておきたいこと（リハビリテーション治療部 公認心理士 赤石正美）			
⑤ 体験してみよう！麻痺のある体とその介助方法（リハビリテーション治療部 科長 宮原なおみ 理学療法士 石田純）			
⑥ 摂食機能・介助について～安全に食べるために～（リハビリテーション治療部 作業療法士 川原佑亮）			
⑦ いろいろなコミュニケーションツール（リハビリテーション治療部 言語聴覚士 喜安朋子）			

(21)	社会生活の自立度評価指標（S I M）を学ぼう！		
担当部署	更生園 国土交通省社会復帰支援事業	対象	千葉県内自立訓練事業所及び障害者自立訓練事業所協議会関東ブロック
目的	令和6年度障害福祉サービス報酬改定によりS I Mの公表が加算項目の一部となり、支援の実績や効果が報酬として評価されるようになった。S I Mを適切に運用することで自立訓練支援の質と評価精度の向上を図る。	日時	R6.9.6（金）14:00～17:00
		場所	千葉県美浜区真砂 5-15-2 美浜文化ホール
		参加人数	66名
内容 1, 講演 「S I Mの解説及び支援プログラムとS I Mの課題について」 2, 評価事例報告(自立支援科長 吉田大) 3, ディスカッション(自立支援科長 吉田大)			

(22)	市町村職員研修兼第一回コーディネーター連携会議		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	① 医療的ケア児等に対し、保健、医療、障害福祉、保育、教育、防災等を担当する市町村職員
目的	医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等の支援に関する保健、医療、障害福祉、保育、教育、防災等の市町村担当職員が、医療的ケア児支援法の意図するところを念頭に、自地域の現状・課題を理解し、行政横断的に連携し重点的に進めるべき取組の方向性を検討すること	日時	R6. 6. 14（金）
		場所	オンライン開催
		参加人数	35 市町村、93 アカウント
内容			
①医療的ケア児支援の動向、千葉県障害福祉事業課 療育支援班長 道野 信也氏			
②県内の協議の場設置と医療的ケア児等コーディネーターの配置について 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・佐藤 郁夫			
③重症心身障害児者および医療的ケア児者の特徴・医療的ケアについて 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長（小児科医師）・石井 光子			
④ご本人・ご家族を取り巻く環境と地域の課題、 ご本人・ご家族様・神子 美里様、高取 れお奈様、野田 匠様、野田 玲子様、)淀縄 喜代美様			
⑤重症心身障害児者および医療的ケア児者に求められる支援 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・山野木 大海、景山 朋子			
⑥地域の取組（５地域）協議の場・医療的ケア児等コーディネーターの取り組み 市川市こども発達支援センター医療的ケア児等コーディネーター・黒川 諒氏 あきつ園相談支援専門員・浅川 時嗣氏、中央区基幹相談支援センター・管理者・伊藤 佳世子氏 特定非営利活動法人つどい・医療的ケア児等コーディネーター・藤野 友希氏 香取基幹相談支援センター・医療的ケア児等コーディネーター・森田 裕子氏			

(23)		医療的ケア児等を支援する看護師等の実技研修会	
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	県内の保育所、認定こども園、小中学校、特別支援学校、障害福祉事業所、介護保険事業所などに勤務する看護師
目的	県内の保育所、認定こども園、小中学校、特別支援学校、障害福祉事業所、介護保険事業所などに勤務する看護師もしくは勤務予定のある看護師に対し実技研修をおこない必要な知識・技術の習得を目的とする	日時	第一回 R6. 6. 29（日） 第二回 R6. 7. 27（日） 第三回 R6. 9. 28（日） 第四回 R6. 12. 14（日）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	第一回 43 名 第二回 35 名 第三回 44 名 第四回 44 名
内容			
実技研修事前講義			
①糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
②カニューレ・胃ろう・呼吸器・用手換気 （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
③呼吸介助・排痰介助（千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす 理学療法士 大矢祥平）			
実技研修			
カニューレ交換→用手換気			
胃ろう交換→ミキサー食注入			
糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
パーカッサーと排痰補助装置（カフベンティックジャパン株式会社）			
人工呼吸器（フィリップスジャパン）			
酸素ボンベ・液体酸素交換（巴商会）			
呼吸理学療法			
姿勢管理 （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子、千葉リハビリテーションセンター 小児神経科部長 田邊良、小児科部長 小島佳奈、副看護部長 栗林欣子 柳沼美穂、看護部看護師長 佐久間真弓、森下由香里、藤代文江、松岡大樹、理学療法士 大矢祥平）			

(24)		医療的ケア児のための保育所等の看護師および保育士研修会	
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	①医療的ケア児のために保育所、認定こども園、通園施設などに配置された、また配置予定の看護師 ②医療的ケア児の在籍予定の保育所、認定こども園、通園施設などの保育士や管理職、行政担当
目的	県内の保育所等に配置されている看護師および保育士等に対し、保育所等における看護師及び保育士の役割について研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R6. 7. 13（土）
		場所	オンライン開催
		参加人数	130 名
内容			
①医療的ケア児についての理解 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長・石井 光子			
②糖尿病管理について 千葉県こども病院・内分泌科部長・数川 逸郎 氏			
③医療的ケア児の相談支援、 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・佐藤 郁夫			
④未就学児保育における看護管理 千葉県立保健医療大学・看護学科教授・市原 真穂 氏			
⑤保育園における医療的ケア児保育の実例（１） 我孫子市保育所 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児コーディネーター・景山 朋子			
⑥保育園における医療的ケア児保育の実例（２） 特定非営利活動法人あーぶる・保育士・高村 千春 氏			
⑦保育園における医療的ケア児保育の実例（３） 明德土気こども園・看護師・妹尾 直子 氏			
⑧医療的ケア児の発達支援（１） 稲毛駅前重症心身障害児支援事業所ボヌール・管理者・伊東 千家子 氏			
⑨医療的ケア児の発達支援（２） 千葉リハビリテーションセンター・保育士・菊池 梓			

(25)	医療的ケア児のための学校の看護師及び教員研修会		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	①医療的ケア児のために市町村立小中学校に配属された看護師 ②医療的ケア児が在籍している市町村立小中学校の養護経論または管理職 ③市町村教育委員会担当者
目的	県内の市町村立小中学校に配属されている看護師及び養護教諭等に対し、学校における看護師の役割と看護管理について研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R6.8.10（土）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	48名
内容 ①医療的ケア児についての理解、 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長・石井 光子 ②糖尿病管理について、 千葉県こども病院・内分泌科部長・数川 逸郎氏 ③未就学児のご家族の生活・相談 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・山野木 大海 ④学校における看護師の役割と看護管理 Nurse Fight・代表・植田 陽子氏 ⑤学校における医療的ケア児教育の実際① 松戸市教育委員会・指導主事・神戸 聖明氏 ⑥学校における医療的ケア児教育の実際② 柏市教育委員会・指導主事・鶴谷 忍氏			

(26)	医療的ケア児等を支援する訪問看護ステーション及び介護老人保健施設看護師等研修（講義）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	①医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等 ②医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない老人保健施設等の看護師等
目的	医療的ケア児等が地域で安心して在宅療養ができるよう訪問看護等を行う看護師等の職員を育成することにより、医療的ケア児等の医療・福祉の向上を図ることを目的とする	日時	R6. 11. 30（土）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	15 名
内容			
①重症心身障害児と医療的ケア児についての理解 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長・石井 光子			
②医療的ケア児等への看護倫理, 千葉県立保健医療大学・教授・市原 真穂氏			
③在宅でよく行われる医療的ケア技術とリスク管理 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長 石井 光子			
④医療的ケア児の訪問看護の実践 訪問看護ステーションびいす・管理者・塚田 典子氏			
⑤老健施設における医療型短期入所の実践, 介護老人保健施設ばらの里・相談員・大和田 雄太氏			
⑥医療的ケア児等の在宅生活に必要な支援, 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・佐藤 郁夫			
⑦超重症児のアセスメント及び急変時の対応, 千葉リハビリテーションセンター・看護師長・松岡 大樹			
⑧障害児のリハビリテーション 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・大矢 祥平			

(27)	医療的ケア児等を支援する潜在看護師等の人材育成研修会（講義）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	未就業の潜在看護師等（就業先が決定している看護師等も含む）
目的	未就業看護職の再就業に対する不安を払拭し、保育所や学校など医療的ケア児等が集団生活をおくる場への就業を円滑にするため、最新の看護の知識および技術を学習する機会とすること	日時	R7.1.18（土）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	23名
内容			
①医療的ケア児を取り巻く現状について 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長・石井 光子			
②障害のある子どもの成長と発達の特徴 千葉リハビリテーションセンター・看護師長・佐久間 真弓			
③医療的ケア児支援における看護師の役割：未就学児通園 千葉リハビリテーションセンター・看護師・倉持 野枝			
④医療的ケア児支援における看護師の役割：保育所 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・景山 朋子			
⑤医療的ケア児支援における看護師の役割：市町村小学校 柏市教育委員会・指導主事・鶴谷 忍氏			
⑥医療的ケア児支援における看護師の役割：特別支援学校 千葉県立船橋夏見特別支援学校・看護師・笹森 祐子氏			
⑦医療的ケア児の姿勢について（講義・実技） 医療的ケア児等支援センターぼらりす・医療的ケア児等コーディネーター・大矢 祥平			

(28)	医療的ケア児等を支援する潜在看護師等の人材育成研修会（実技）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	未就業の潜在看護師等（就業先が決定している看護師等も含む）
目的	未就業看護職の再就業に対する不安を払拭し、保育所や学校など医療的ケア児等が集団生活をおくる場への就業を円滑にするため、最新の看護の知識および技術を学習する機会とすること	日時	R7.1.25（土）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	19名
内容			
①事前講義 医療的ケア児等支援センターぼらりす・センター長・石井 光子			
②酸素ボンベの交換 株式会社巴商会			
③経管栄養チューブ挿入・滴下注			
④胃ろうボタン挿入・注入,			
⑤気管カニューレ挿入,			
⑥吸引（気管・鼻口）,			
⑦導尿, 千葉リハビリテーションセンター・副看護部長・栗林 欣子・副看護部長・柳沼 美穂 看護師長・佐久間 真弓・副看護師長・佐々木 律子副看護師長・中澤 辰巳 認定看護師・津島 久美			
⑧車椅子操作, 千葉リハビリテーションセンター・上席理学療法士・大矢 祥平			

(29)	医療的ケア児等コーディネーター連携会議		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぽらりす	対象	・市町村にて配置されたもしくは配置予定の医療的ケア児等コーディネーター ・市町村障害福祉担当職員 ・令和6年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者 ・令和5年度連携会議出席者
目的	医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、千葉県ならびに市町村にて配置された医療的ケア児等コーディネーターと市町村担当職員等が医療的ケア児支援法の意図するところを念頭に、自地域の現状・課題を理解し重点的に進めるべき取組の方向性を検討、共有すること。	日時	R6.2.26（水） R6.2.27（木）
		場所	千葉リハセンター
		参加人数	52名 39名
内容			
①医療的ケア児支援の動向 千葉県障害福祉事業課・療育支援班長・道野 信也氏			
②千葉県医療的ケア児等支援センター 実践報告 医療的ケア児等支援センターぽらりす・医療的ケア児等コーディネーター・山野木 大海			
③調査結果報告、 医療的ケア児等支援センターぽらりす・医療的ケア児等コーディネーター・景山 朋子			
④地域の実践報告 26日（水）・習志野市・浅川様、市川市・黒川様、千葉市・加藤様、 27日（木）・君津市・三澤様、夷隅圏域・藤野様、香取広域・森田様			
⑤グループワーク①実態把握・コーディネーター配置②保育・教育③災害支援 医療的ケア児等支援センターぽらりす・医療的ケア児等コーディネーター・佐藤 郁夫			